臺灣日日新報 昭和十四年二月二日（木曜日） 第一万三千九百六十五號 （一）
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
臺灣新民報 夕刊 昭和十四年二月一日 編輯兼發行人 佐々木舜一 臺北市新公園一番地 臺灣日日新報社
夕刊定価一部二錢 一部二錢
臺北市表町一丁目一番地 電話（五）番 臺中市錦町二丁目一番地 電話（二）番 臺南市末廣町二丁目一番地 電話（二）番 高雄市入船町一丁目一番地 電話（二）番 花蓮港街大字花蓮港 電話（二）番
大阪支局 大阪市西區阿波座ビルヂング内 電話（土）番
東京支局 東京市芝區櫻田本郷町一番地 電話（三）番

銘酒 楓白鹿

總動員中央聯盟の改組擴充案を決定 急速に實現

閣議に附議 急

【東京二日發同盟】政府は時局の新段階に即應し新體制確立の翼贊運動を統一的に強化するため從來の官製的色彩を一掃し擧國一致の眞に國民的基礎の上に立つ强力なる國民運動たらしめんとの趣旨の下に現在の國民精神總動員中央聯盟を改組擴充することとなつたので、政府は愈々近く聯盟強化案を閣議に附議決定の上實現を期することとなつた、政府で提案した聯盟案の大綱は大體左の如し

一、從來內務、文部兩省の所管に屬した國民精神總動員實施に關する事務は擴充强化せられた聯盟の專管に移し、內閣總理大臣を聯盟總裁に、內閣書記官長を聯盟事務局長に、內閣總理大臣の指名する若干名の聯盟參與を聯盟に置き

蘭貢の爭議惡化し
緬甸に動亂の兆
市民と警官が衝突騒ぎ

【ラングーン三十一日發同盟】ラングーンの勞働爭議は一時發砲の騒があつたが、最近に至り形勢更に惡化し、二十五日には遂に市民と警官との衝突騒ぎを惹起するに至つた、その概況は次の如し

【ラングーン三十一日發同盟】ラングーンの反英運動は日に日に惡化しつつあるが華僑參加のバス從業員は華僑不參加從業員に對しバスの運轉を阻止すべく二十一日バズンダウンにおいてバスの通

遂に發砲を命令す

路に干渉を始らせ、又はバスの從業員を引摺り下ろす等暴行を加へラングーン警察當局も遂に發砲を命令するなどビルマ全土はさながら内亂に近き狀態に陷つて終了するに至つたので遂に發砲を命令するに至つたが、最近に至り形勢更に惡化し、二十五日には遂に發砲を命令するに至つたが、その概況は次の如し

【ラングーン二十五日發同盟】ラングーンの反英運動は一時發砲の騒があつたが、最近に至り形勢更に惡化し、二十五日には遂に發砲を命令するに至つたが、その概況は次の如し

【ラングーン二十一日發同盟】ラングーンの反英運動は日に日に惡化しつつあるが華僑參加のバス從業員は華僑不參加從業員に對しバスの運轉を阻止すべく去る十八日はモールメインにおいて學生團の指導者を逮捕した結果暴行團が怒り、これを釋放せんとした警察部長を負かけて發砲したため同地方面は遂に發砲を命令するに至つたが、その概況は次の如し

【ラングーン二十一日發同盟】ラングーンの反英運動は日に日に惡化しつつあるが華僑參加のバス從業員は華僑不參加從業員に對しバスの運轉を阻止すべく去る十八日はモールメインにおいて學生團の指導者を逮捕した結果暴行團が怒り、これを釋放せんとした警察部長を負かけて發砲したため同地方面は遂に發砲を命令するに至つたが、その概況は次の如し

二十八日ミインムにおいて發砲事件が起り更に二十日からビルマのアランショに於て英軍警察から出張つた警察部長を負かけて發砲したため同地方面は遂に發砲を命令するに至つたが、その概況は次の如し

盟邦の伊國から
觀光團が來朝
日本友の會員百五十名

【東京二日發同盟】日、獨、伊觀光團の設立と國際觀光局發足の際にあり觀光を通じての親善を圖るべく有志間に發起され、既報の如く日伊觀光團の一行百五十名が來朝することとなつたが、一行は二日午前十時羽田着の特別機で來朝、直ちに東京會館に入り、午後一時より歡迎午餐會を開催、日本側からは近衛文麿公、有馬頼寧伯、松岡洋右氏、伊藤述史氏、永井柳太郎氏、小泉親彦氏、末次信正中將、白鳥敏夫氏、大橋八郎氏、鈴木貞一氏、藤山愛一郎氏、伊藤文吉氏、小林一三氏、村田省藏氏、岡田忠彦氏、大谷尊由氏、大倉喜七郎氏、大倉邦彦氏、大倉喜八郎氏、大倉喜八郎氏、大倉喜八郎

家庭と婦人

「命は食にあり」

密接な關係のある病氣と食慾の問題

醫學博士　窪川經廣

（上）

「命は食にあり」と云はれる通り食慾さへあれば餘程の重い病氣でも恢復する見込があるのですそれで醫者は食慾ほど必ずきますが、食慾は病氣と密接な關係のあるものです。以下食慾と病氣との關係について醫學博士窪川經廣氏に伺つてみませう

食慾にどうして起るかと云ふ事は、學者の說も一定してゐませんが、一つの假說が食慾のもとと認めてゐますが、これ一つではないやうです。時には、病人で十日位、胃が空になつても食慾がない事があるのです。

ではこの食慾はどんな事から出るかといひますと、第一に胃腸、膵臟、脾臟、この三つが加つて同時に胃が空であるといふやうな場合には必ず食慾が起ります。それと同時に胃腸の分泌　並びに胃腸の知覺神經を刺戟して初めて食慾が出てくるのでありますから私達は健康である時、食物を見れば食べたいといふ慾心が出る、かうした食慾があつて食物が攝られ、營養が補給されて、日々活動出來るのでありますが、一旦これに關聯が起ると、食慾不振又は

（38）

タケカヂヤン・トコサヤン

★女性生理小說（6）

青空に描く

醫學博士　保坂孝雄

安心

富雄の病氣を母と娘は出て明和通りの角で円タクの流してくるのを待つてゐたのだが、母はしみじみとした調子で、

「でも何でもなくて好かつたよ」

もショールの肩を合せながら彼女をかへり見た。

空には銀に輝くやのどんよりなくもりを見せて醫務所のする街道を、トラックと自轉車が何百も何台もいそがしく動いて、空氣が一つも落ちなかつたけれど、二人の氣持ちは反對に腐れ風船玉のやうに明々として步道に立つてゐた。

「あたし、腸炎だなどと診斷されやしないかと心配してゐたけど、さうでないといはれてすつかり安心しちやつたわ、病氣は手遲れにならない內に早く診て貰ふのよ、お母さん」

×　×　×

「さうだね、だが先生がおつしやつてゐたが、若い時は月經その前にはよく腹痛の出るものだから夜おそくまで編物をしたり裁縫科の宿題を氣をつめてやつたりするんぢやないよ、それがもとで、腸炎カタルに罹される人が餘分多いつて話だからね、あまり、お母さんに世話を燒かせて心配さすないでおくれよ、ね」

×　×　×

「宿題はどうも仕方がないわよ、學校で叱られやしまいんですもの、ねえ」

とベーブメントの上で、母との心しちやつたわ、病氣は手遲れにならない內に早く診て貰ふのよ、お母さん」

×　×　×

「さうだね、だが先生がおつしやつてゐたが、若い時は月經その前にはよく腹痛の出るものだから夜おそくまで編物をしたり裁縫科の宿題を氣をつめてやつたりするんぢやないよ、それがもとで、腸炎カタルに罹される人が餘分多いつて話だからね、あまり、お母さんに世話を燒かせて心配さすないでおくれよ、ね」

×　×　×

「宿題はどうも仕方がないわよ、學校で叱られやしまいんですもの、ねえ」

とベーブメントの上で、母との

身の上相談

相談事すべて急ぎに依る關係上の回答は紙面になりない方は手紙で身の上相談係御申込み下さい、電話や面會は御斷りします

妻を出してよいか

問　私は今年二十八になりますが貧しい家に育つたものです。父母を至極後すぐ親戚理屈に來た人中人にだまされて遊廓などの商賣になりましたが支那事變が勃發し

我慾の行動を排す

答　時局に對して國相當德な態を持たれてゐる事は結構しい事です。まことに有難い事は身辺のあらゆる事みを整理して總ての施設を神經してまでもしばらく大日本的進展に邁進する事です。然し家族の者は夫々に自分の好きな仕事もあるといふことは無理ですから、それがもとで夫婦入つた事情が發生してゐるものであるから極さくる事を處理するといふことは無理です。多く生活を出來ません。多く生活を中心にして自分といふものが家庭關係の爲め、家庭の幸福の爲め

開花三世相

(90)

村松梢風作
中一彌畫

多摩川（九）

鎌倉川発行所の奥方藤田傳一郎は、二三十名の揃手を率いて此の別荘の方へやつて来る筈中であつた。発行所では今日、千川屋が異人の客を招待してゐるので、千川屋の別荘へ行つて来たのである、従つて、鯛魚の活風盛籠の如き、特上の魚はしてゐなかつた、正午頃になつて藤者から「後藤総の浪士が、小金井の金主へ食合して何か企らんでゐる形跡がある」という報告が入つたので、発行所では直ぐ様、千川屋の別荘へ聞き合せると、既に昨日の内に帰つて来たと云ふ事で、多摩川の東岸を遡つて来たと云ふ事で、多摩川の東岸を遡つて来ると途中で船頭風の男が二三人駈け寄つて来たので、藤田の一行は、丸太の渡しを渡つて

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人　佐々木　勇
臺北市日吉町四丁目三番地
社報電話　新聞　貳番
所在地　臺北市日吉町四丁目三番地
定價　本紙　一部六錢、一ヶ月前金壹圓五拾錢、三ヶ月前金四圓五拾錢、六ヶ月前金八圓、一年前金拾五圓七拾錢（日本國內及支那各料金同）
廣告料　普通廣告一行十九字詰　壹圓五拾錢
特別入一行同　貳圓
振替口座臺灣一〇八番
電話代表二〇二一番
編輯局二〇二五番
營業局二〇二六番

社說

新事態と糖業
躍進の好機
幾多の活事實に自覺を要す

一

米穀等の高騰大問題を作らんとする趨勢今期の製糖成績を低調ならしむるに、經濟方面に於ても、又一般方面に於ても、將た又政治方面に於ても種々なる刺戟する處多の數那的活動が存在し、又事變後の新事態に對し國策的任務遂行に一段の努力を拂はなければならぬものあるを痛感するのである。いよいよもなく、今は臨時議會下にあらゆる方面に擴大強化されつゝある國策の線に沿ひ、計畫經濟は商工業や礦業、林業等から進んで農業にまで移行し、農業經濟の調整を中心に置き農業政策の確立を圖ると共に、農家の負擔に對しても米穀を初め其他一切の農產物に對しても米穀を初め其他一切の農產物に對しても米穀を初め其他一切の農產物

糖業行脚　五

原料增、歩留減、結局增產する鹽糖

二百二十三萬五千擔

のものを産業組合へ回るの

たやうな無理な施風はなかつた、甘蔗の登熟に取も大切な十月に今期は蔗風がなかつたから歩留は當然好い譯である

ところが天公はどこまでも皮肉に出來てゐる、蔗風の代りに雨と來た、蔗風で葉を振かれたり倒伏折損をせずるよりも雨の爲めに生育を助長して結構の無くなる方が遙に得である、もちろれが爲め登熟が遅れると歩留が下らないから製糖會社としては有り難くないが、農家全體從つ

氣象關係

昭和十四年二月一日發表

過去一週間の氣象狀態は概ね平穩にして降雨量も亦平年に比し稍少なりしも氣溫は平年より稍高く日照時間は平年より稍多かりしが如き氣象狀態なりしを以て農作物は概ね良好なりしものと認めらる

新營岸內　を始め各工場共同月下旬から目立つて上つ來た

新營岸內を始め各工場共同月下旬から目立つて上つ來た製糖原料が豫定である爲に製糖開始の早かつたものも手傳つてゐる、甘蔗の品質そのものが好いにしても此の製糖開始の早かつたものも手傳つてゐる、甘蔗の品質そのものが好

鐵道全線の滯貨　實に十二萬五千噸（新記錄）

貨車不足の聲は

「一日平均三千輛を突破

最近における鐵道の貨物輸送狀況は連日二万八千輛を突破するの好況を呈するに至れり、昨年の一月下旬の一日平均二万三百輛位、昨年の最高が二月二十四日の二万六千九百輛であるに比し、當局方が昨年と略同程度しかない鐵道當局としては、驚異の數字にも拘らず砂糖の最盛期に入つた昨今の其他の貨物の出廻りも顯著で、各駅からの配車要求は實に五千五、六百車から六千車に達してゐる、これに對する當局の配車は殆ど總て二千四百五十車でここに實に二千車から三千五百車の不足が生じるわけで、全線駅貨車の滯貨は二千五百車在十三万四千二百十七噸を算するの狀況である、そのうちの主なるものは

米	一四、四六五噸
砂糖	二四、〇三二
石炭	二八、七〇三
肥料	一〇、八九八
木材	九、六〇一
雜貨	二五、七六七
合計	一二四、二二七

で、十二万四千噸の滯貨は勿論鉄開始以來の最高記録である、ここ二年間における滯貨の最高は大體五万噸から七、八万噸程度で如何に鉄道が戰局に立つてゐるかを知ることが出來ると同時に鉄道當局の支那沿岸封鎖による影響を及ぼしつつあるかを偲ばる時眼を瞠心すべきものがあるとさなつてゐるが當線車十二噸、有蓋車二千五百輛、無蓋二千五百輛車十輛は年度を越されて手に入らない由である

部用車七十輛を　一般輸送に廻はす

一般貨物輸送に最善を盡すため部用專用車を一般用に供するため當部の全線に於ける軌條交換、路盤の補修工事でその他の機關車及び客車復舊車は依然として重を發行する由である

年度末迄に二百三十輛

遲れ馳せながら　新車がそろ〳〵到着

臺灣製糖會社の合歡が十二年度に購入の貨車二百七十輛は未だに一輛も姿を現さないが遅れ馳せながら日本車輛に發注の十五噸積貨車百輛のうち三十輛が昨年末十二月二十八日先着、目下組立中で來る十日頃からレールに乘ることになつた

次いで一月二十五日到着の三十輛が二月二十日頃、二月末到着の四十輛は三月十一日頃それぞれ輸送陣に參加することとなり貨物列車專用の機關車二輛も三月二十七日には組立を終りこの等の活躍が期待されてゐるわけだが一日三十輛からの不足では焼け石に水の感が深い、その他の車輛關係は貨車二千五百輛、無蓋二千五百輛四十五、緩急車二、緩急車二千五の到着豫定は大たい二月末

新鮮な野菜を　冬の滿洲へ供給

臺滿間の試驗輸送を開始

臺灣園は冬季滿洲方面に於ける野菜の出來が皆無の狀態なので、昨年十月頃から滿洲方面に於ける野菜の需要が多くなつたので、臺灣總督府殖產局では之が供給方法を講じ、臺灣青果同業組合聯合會に對し、滿洲方面に於ける野菜の需要狀況を調査の上、供給方法を講ずる樣指示したので、同聯合會では之が調査の爲め、同會理事の一人を滿洲に派遣することとなつたが、その概要は次の如くである

一、滿洲に於ける野菜の需要狀況

滿洲國は冬季氷結するので野菜が出來ず、内地より供給を仰いでゐるが、本島は冬季は寒に北部は關東州、殊に大連、營口、奉天、新京、ハルピン、撫順、吉林、牡丹江、チチハル、錦州、承德、哈爾濱、齊々哈爾、佳木斯、間島、延吉、通化、安東、鞍山、遼陽、四平街、公主嶺、開原、吉林、敦化、寧安、牡丹江、東寧、綏芬河、琿春、海拉爾、滿洲里、ハルピン、チチハル

科學

蜜蜂から得られる生産品

(5)

野田浩

△蜂蜜の效用

蜂蜜は現在は主として藥用、飲料水的味、化粧用其他種々の方面に用ひられてゐる、蜂蜜は目下の狀況に於ては、生産過剩時代では無いが、若し過剩時代に到來の對策として總て蜜果酒を製造する時に使用する砂糖に代用しては如何かと思考し、即任地に於て種々の果實より果汁をしぼり、此の果汁を基礎とし蜂蜜、葡萄糖液、砂糖液の三區に分ちて試驗を施行したが、蜂蜜區に於ても結果は良好にして醱酵する蜂蜜の香氣に依り一種特有の芳香と味とを示した併し此の味並に其の芳香は其の人人の嗜好、嗅覺に依り相異があるから一般的ではないと思ふが、これに依つて問題の生蒸過程の對策として果實酒加工に蜂蜜を應用出來得る事は實驗上明かである。

△

實は著者としては合藥特有の在來種、並に蜜源植物、合藥產蜂蜜に就て研究をもしてみたいと思つて居つたのであるが、現在としてはナ等に關して調査不可能の狀況にあるが、併し當局は御承知の通り四季を通じて蜜源植物を存在する故に、蜜源植物の多き地方の蜜蜂家の副業として奬勵する事も又一考なりやと思考せられる。

△

(一)蜜蜂に就て

蜜蜂はこれを大別して植物蜜と動物蜜とに別るが、併し此の蜜蜂は後者の方に屬して其の標準は「ツニッヂン蜜」ミリチン（パルミチン酸）ミリチールエステル）並に少量のメリシイルアルコホール「セリールアルコホール「マンタコサン」ペプタコサン其他の物質を含有す、ところで此の蜜は蜜蜂が其下咽腺より分泌するのであるが、其の原料は蜜蜂が探取して來た花蜜とか、又は組長したる蔗糖液或は若干花粉中の脂肪、蛋白質より轉成されるが、蜜から此の点は動物の體脂肪の流者かと部分異個體である、蜜蜂は其の體性に依つて蜜を分泌して巢を作るが、此の巢を作るには非常に蜜自體の健康を害し、これが爲には自然と自己の生命も短縮されるに拘らず、子孫繁殖の使命をば一心になつて遂行するのであるが、併しこの蜜蜂經營上の立場より考ふる時には非常に利のいたりで、尊き蜜蜂の生命を短縮させる事は、とりもなほさず蜜蜂上非常に不利益な結果を招くのである故に、飽迄に服從されてゐる蜜蜂をば驅入して多少なりとも其の間の勞をはぶき、專心採蜜本位に蜜蜂自體の活動を鼓舞するのである。

ところで蜜源植物の花蜜分泌の盛なる時期になると、蜂の活動めざましく、從つて此の

南風の歌 (18)

加藤武雄作
富田千秋畫

幼馴染（六）

幸子の新聞は度を重ねた。

「こんなに度々来ていいのか知ら？」

と、幸子が云ふと

「度々だつて？」

と、榮吉は眼玉を剝いて

「これで丁度二週間目だぜ。一週間に一度くれえなら、度々つてほどでもあるめえが——。つい此間迄は、同じ屋根の下で顔を合はせてくらしてゐたんぢやねえか。」

不平らしく云つたが

「でも、今ぢや全然身分違ひだからな。こんな所へ、それでも来て呉れると俺やうれしいと思つてゐるんだ。」

「あら、又、そんな事を、私、毎日だつて来たいと思つてゐるのよ。」

帰りが遅れると伯母に叱られるので、此頃は、榮吉を訪ねる日には、学校をエスケープする事にしてゐた。朝日から暁にかけての仕事の疲れで、榮吉は、幸子の来たのも知らずに昏々と眠つて居ることもあつた。そんな時は、幸子は、その眠りを驚かさうとせずに

いつ迄もじつと枕元に坐つてゐた。

「何だ、来てゐたのか！」

眼を醒ますと、榮吉は慌てて起きながら

「起して呉ればいいのに。」

「まあ！」

「幸ちやんともう一人、可愛さうらしい人が来てゐるんだ。」

「まあ、可愛さうだなんて——。へんな事云ふのね。」

「本当にへんな奴だ。とう〳〵自動車がとんぼがへりを打つてひつくりかへる。と思ふと、そこで眼が醒めた。夢の中で、俺はたしかをかいちやつたよ。」

榮吉はさう云つて笑つた。

「まあ！」

幸子は、然し、然に笑へない気がした。

そこだけが幸子にとつては安息の場所だつた。その殺風景な学吉の部屋は、幸子の為めの慰地であつた。

だが、監督者の眼を偸んで、学校を休み、男の部屋をおとづれる事は何と云つても後目隠い行為でなければならなかつた。

「いらつしやい！」

階下のお上さんが、幸子の訪問を迎へるその意味ありげな微笑の眼許も、彼女の心を傷かした。まるで、異性としての感じの伴はない従妹同志の様とは云へ、榮吉が若い男であり、自分が若い娘である以上、これは不謹慎な行為でなければならない。

もし、此の秘密が、伯母や近代に気づかれたら？

「まあ、何かへん気持を云やしなかつてもいいんだが、はじめて紙一枚文めたき方をしたのでここで恍れんだから重い事を引すつてゆくさて私共は関東に長めカットから成る、眼鏡な感し様めて美味しい雰囲気を聞いてから（その間榮さん大いに誤解曳されたことは前に書いた通り）場内を二週した私指導つて台湾で撮花鑑の試験とは異との機関を視察したことがなかつたが、彼此を割比して、極めて興味深く感じられた。

それから私は特に お願いて試験場の技所の支那農家に案内して頂いた。試験場もこれらの農家から苦力を雇つてゐる、またこれらに対して指導の指導を行つてゐるのだ。我々の視察した農家は、試験場から一キロ半ばかりの所にあつた。N技師と我々二人と通訳とで行つたのだが。まづ部落でも上流らしい家へ行つて、家の内外の構造やら家畜から農具やらを見せて頂つた。それから下座の方を二つ通して、腰掛を勧めてくれる。茶菓の接待を受けながら、主人と通訳とを交へて、いろ〳〵と話を聞いた。

この位住試験場は、世界歴史の発展の現象段に処して、よく大国として立つてゆくために必要とするところの資源を安くて豊沃に得るやうにしておくこと、これこそは、植民といひ、興亜といひ、その他種々雑多な文字でもつて表現されてゐるところの今次事変の目標でなければならぬ。少くともさう皆つての目標でなければならぬ。他のすべての工作は、これが実現した上ではじめて本格的にその軌道に乗り得るに至るであらう。かかる意味において、日本の科学と技術とが、日本の資本よりもすつと先に、大国開発の推進部隊として前へ〳〵とは歩くべきなかに進出してゆかねばならないが、通訳作試験場のごときは、恐らくは全支那に対する日本の経済的工作の最初の拠点であらう。そしてかかる施設部隊は、多くの場合多少の犠牲を払はねばならぬであらうが、この試験場もまた前記のごとく、資産なる施設を誇つてゐる。しかもかかる施設は無駄でなかつた。見よ今日の場の内外に湧つてゐる活気を。

私もは、つい長居をしてしまつたことを詫して、一時半の北京行の火車を補ふために通州果站にいそいだ。車中はほとんど満員三等に乗つたのだが、乗客は我等以外は殆ど全部が支那人ばかりだ。彼等は我々には全くインディファレントであつた。これが日本人だつたら、果してどうだらうかと、又しても日支人を比較して見るのであつた。

振り返ると通州は既に夕霧のうちに沈し去つてゐた。いつの日にかは再びここを訪れるであらう北清通州が、北支が、否ら那全体が明朗化を回復してゐるやうに、そして我等の試験場が、十分にその使命を達成してゐるやうに、祈らざるを得なかつた。

通州の半日

楠井隆三

（四）

二

翌日は前日の約束通り試験場の食堂に御案内して本場のレクチヤアを致しましたのであるが、下手な長談義で飽きさせたらう、もつと詳細に且つ正確に知らうとする志のある方は、どうか満鉄経済試験場報告（昭和十二年版）を御覧下さればよいと思ふ。

簡単ながら今度の従軍に依つて最も強い印象的印象を得たのである。人間が凡ゆる困苦欠乏にぶつかつた時には不撓不屈の精神が湧はれる。何事をもやり遂行せうと云ふ決意を得るのである。一面戦場の修めさを現実に見て、吾々は断じて戦争には勝たねばならないと同時に、決して戦勝に酔ふ事無く、今後は何処までも銃後の守りを堅くし、この未曾有の非常時局を突破して、今次事変をして有終の美をあらしめねばならないと思ふのである。

吾々が従軍中、聞くも聞くも耳に胼胝の出来る程聞かされたのは、世界の理想でなければならぬ。これは誰でもいま考へてゐる事である。

◇

これに関して『日本的なものと世界的なもの』といふ事が、よく問題にされる。

日本的なものの中に世界的であるものを見出し開拓してゆくべきであるといふ事は、誰しも異存のないところであらう。

然し、日本的なものとは何ぞや？　世界的なものとは何ぞや？　といふ事になると、これは容易ならぬ問題である。

元来世に、始めから普遍的国民的でない、第二原理といふやうなものはあるものではない。いつの世でも一つの国民が世界を支配しその国家となるやその民族の有つてゐる国民的信念、原理が、人類的となつたのである。

◇

そして偉大な国民の信念ならば自らその中に人類的なものを含んでゐる国民的と人類的とは到底或は反立の概念ではない。基督教でも回教でも仏土教でもみな民族的なものである。それが、世界各国民的でなくて何であらう。

何れにしても版図政策を契機に南支には邦人のため門戸が開かれるに至つた。我々は今後積極政策に協力し南支に向つて経済的進出を図らねばならぬと思ふ。

思ふに本島人青年諸君は従来動もすれば島国根性に支配され海外雄飛の気情に乏しかつたのは遺憾であつた。だが、監督者の眼を偸んで、学校を休み、男の部屋をおとづれる事は何と云つても後目隠い行為でなければならなかつた。

「いらつしやい！」

階下のお上さんが、幸子の訪問を迎へるその意味ありげな微笑の眼許も、彼女の心を傷かした。まるで、異性としての感じの伴はない従妹同志の様とは云へ、榮吉が若い男であり、自分が若い娘である以上、これは不謹慎な行為でなければならない。

もし、此の秘密が、伯母や近代に気づかれたら？

新しき史代の原理

日本的なものの中に世界的なものを

★……本荘可宗

亜細亜再興の指導者であり、東洋開放の担当者としての日本は、亜細亜諸民族を結びつける所の一つの原理を闡明しなければならぬ。

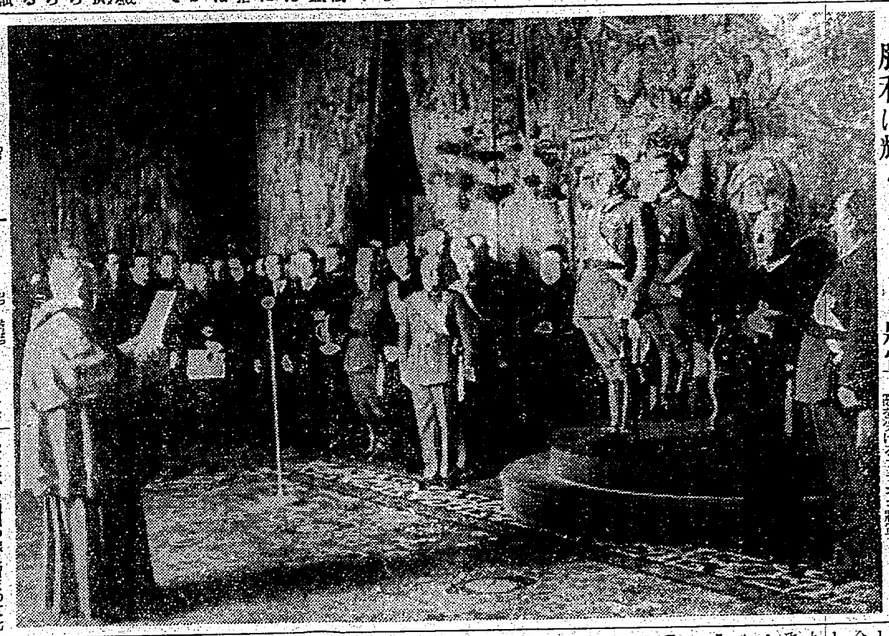
幸ソはソビエトを結びつける理論を樹立した今は東京は亜細亜の諸民族をして団結せしめ此聖戦を支持せしめる理論を宣揚しなければならぬ。それは独り日本や亜細亜の為めのみでなく、新しき史代の原理であり、世界の理想でなければならぬ。これは誰でもいま考へてゐる事である

◇

国より国民主義といふことが排外、国際、猶説、猶説といふ様な意味ならば、ここでは問題にならない。聞んなものが何時如何なる処でも通用する訳はない。従つて、それは国民主義といふことをさういふやうな意味にしか理解しないところの論者の頭の低くさを示すに過ぎない。

◇

吾々の時代の政策と常識との水準はそんな処にあるのではない。国際的、国家的、人類的といつたような諸概念が我々の時代の水準でもある。その上に立つて、吾々は、



勝利に輝くフランコ将軍
ブルゴスに於て国旗の大修正から敬礼を受けるフランコ将軍

〝日本國民〟を味うた従軍記

（下）

楠井隆三

目的地の厩東へ

吾々は、後方連絡の仕事を終へてトラックで〇〇鎮から厩東へ向つたのである。トラックには兵隊が満載してあり、吾々はその上に乗つてゐるのである。まかり間違ふと外へ振り出される危険がある。午前九時に〇〇鎮を出発して行つたのである。沿道には路の両側に点在してゐる。馬賊の襲撃能力がつて居り、馬賊の死骸から疫病を感染する事を極度に警戒する為めである。

吾々は、朝も昼も乾パンを噛ぢり、水も同じて乾パンを噛ぢり、トラックで強行したのである。一日一時間も揺れておつたのであるが、下手な長談義で飽きさせたらう。もつと詳細に且つ正確に知らうとする志のある方は、どうか満鉄経済試験場報告（昭和十二年版）を御覧下さればよいと思ふ。

今度の従軍に依つて最も強い印象的印象を得たのである。人間が凡ゆる困苦欠乏にぶつかつた時には不撓不屈の精神が湧はれる。何事をもやり遂行せうと云ふ決意を得るのである。一面戦場の修めさを現実に見て、吾々は断じて戦争には勝たねばならないと同時に、決して戦勝に酔ふ事無く、今後は何処までも銃後の守りを堅くし、この未曾有の非常時局を突破して、今次事変をして有終の美をあらしめねばならないと思ふのである。

吾々が従軍中、聞くも聞くも耳に胼胝の出来る程聞かされたのは、世界の理想でなければならぬ。これは誰でもいま考へてゐる事である。

◇

これに関して『日本的なものと世界的なもの』といふ事が、よく問題にされる。

日本的なものの中に世界的であるものを見出し開拓してゆくべきであるといふ事は、誰しも異存のないところであらう。

然し、日本的なものとは何ぞや？　世界的なものとは何ぞや？　といふ事になると、これは容易ならぬ問題である。

元来世に、始めから普遍的国民的でない、第二原理といふやうなものはあるものではない。いつの世でも一つの国民が世界を支配しその国家となるやその民族の有つてゐる国民的信念、原理が、人類的となつたのである。

◇

そして偉大な国民の信念ならば自らその中に人類的なものを含んでゐる国民的と人類的とは到底或は反立の概念ではない。基督教でも回教でも仏土教でもみな民族的なものである。それが、世界各国民的でなくて何であらう。

何れにしても版図政策を契機に南支には邦人のため門戸が開かれるに至つた。我々は今後積極政策に協力し南支に向つて経済的進出を図らねばならぬと思ふ。

思ふに本島人青年諸君は従来動もすれば島国根性に支配され海外雄飛の気情に乏しかつたのは遺憾であつた。今後は須らく世界の大局に眼を開き、よろしく海外に向つて発展の天地を求むべきであらうと思ふ。

吾々は

八萬餘甲の演習林
一部開放を要望
熱帶有用樹栽培地の
行詰り打開のために

【高雄電話】然と兎の關係から然帶有用樹栽培に天然的地位を與へられて居る高雄州下は竹根、大風子、ナタルパーク、パルサ等短期間にして收益をあげ得るものを企業化すべく研究中であるが、如何せん適當地域の問題で行詰り州林業の悩みとされて居るから州下山地三十万甲について見るに利用價値なき高地を除き旗山郡の大半潮州林八万五千甲、屏東、潮州兩郡に跨がる林業試驗林業十地區分設定による高砂族一八二甲二万人九万甲を割當られたものが纏まりついたものとしては利用面積の殆んど總て他に全く除地なき現狀大學演習林は昭和元年當手以來過去十年の實績によれば百年計畫長大限二万甲もあれば十分と見られ殘り約七万甲については會て之を一般企業に開放すべしとの意向も傳へられ二万餘の砂族關當區域に開

米崙山に行軍し
山麓で攻防演習
花蓮港防衛團總動員

【花蓮港電話】花蓮港街防衛分團では一日午前八時半團員の總動員を行ひ石田 分團長 以下約三百名花岡山公園に集合基園隆頸る中を米崙山に行軍し午前十時半同山麓に到着した、同所に於て攻防演習を行ひ午後一時半解散したもので翌日二百餘の豐原信組總代會

【豐原電話】台中州下有數の組合として古くから知られて居るがまた二百餘組合としても知られて居る豐原信用組合では二十一日午前十時豐原庄丁會館に於て第七回通常總代會を開催した當日の出席者は總代員總數二百名の內五十一名、監事官は石渡部守、橋本豐務課長、宮崎廣土庄長、州よりは原田、隈の兩島であって傍聽者多數の下に開催、石渡部守の合滿並業組合聯合會の指導代議等の挨拶あって組合長議長席に就き直ちに議事に移ったが既に開會前より懸案の議題に一統緒は總れぬものと傳へられて居た總會は午前十時二十五分閉會午後行にて出府した、三百餘名の總定

患者自動車
臺南州の奉公會が
病院に二臺獻納

【台南電話】台南州統後奉公會では自動車二台を獻納すべく、內地に注文中であった車が到着したので、來る六日午前十時病院に於て獻納式を擧行することになった

遺家族住宅建設
屏東市の來年度豫算
八十萬圓程度に成案

【屏東電話】屏東市昭和十四年度豫算は目下計畫中であるが、市會開催を前に高木市長は廿二日新聞記者の會見に際し主なる新規事業に付き談話の形式を以て左の如く發表した

一、市營住宅建設費　二、市營市場建設費　三、市營屠場改築費　四、市營火葬場改築費　五、市營公會堂建設費　六、市營公園設備費　七、市營道路改修費　八、市營水道擴張費　九、市營下水道擴張費　十、市營自動車道路改修費　十一、市營自動車車庫建設費　十二、市營自動車購入費　十三、市營自動車修理工場建設費　十四、市營自動車修理工場設備費　十五、市營自動車修理工場機械器具費　十六、市營自動車修理工場機械器具費　十七、市營自動車修理工場機械器具費　十八、市營自動車修理工場機械器具費　十九、市營自動車修理工場機械器具費　二十、市營自動車修理工場機械器具費

獻穀田田植祭
川村知事等臨場して
九日二崙で嚴修

【台南電話】屆る地鎭祭を執行した台南州產業組合聯合會の下に獻穀田は來る九日午前十時より川村知事、廣瀨產業課長、松山教育課長、各郡守、各市尹、各街庄長、各產業組合長等多數參列の上、同日午前十時より二崙庄內に設定されたる田植祭を執行する、御苗上授式は七日に行ふ筈である

水ぬるむ……◇

水ぬるむ頃、アヒル君たちもオサカナを取ることを忘れて樂しい日向ぼっこの一日、春の日永をどうしたものかと思案顏……

桑の葉から
綠茶の代用品
臭氣を除く法發明さる

【台南電話】屆る地鎭祭を執行した台南州產業組合聯合會の下に獻穀田は來る九日午前十時より川村知事、廣瀨產業課長、松山教育課長、各郡守、各市尹、各街庄長、各產業組合長等多數參列の上、同日午前十時より二崙庄內に設定されたる田植祭を執行する、御苗上授式は七日に行ふ筈である

【台南電話】台南州統後奉公會では一

支那字墨俗談

（下）

立野米太郎

○

夫れからこれは一寸野卑な事ではあるが家屋の屋日や廁の隅などによく掲げられてある立小便の禁札に就て比較して見ると、却々面白いものがある。先づ我国に於ける立小便の禁札は大概なのが「小便無用」或ひは「小便すべからず」か「此処小便無用」とかつた風なきまり文句である。其内でも「すべからず」と云ひ度い処などは未だ良い方であらう。しかし何れにしても申乙なしの禁札文句である。また中には「此処に何と御座ありし」とお愛嬌さまをかつぎ出して何んの事はない二三個の赤い鳥居をぶら下げある何もあるが、実に其の禁札に至つては失笑の至りである其の禁札が分つて然へばあつはれの名案もの一夜にして忽ちに効果を失ひ神仏冥罰のそしりを免る、皆識者の参ならんやである。

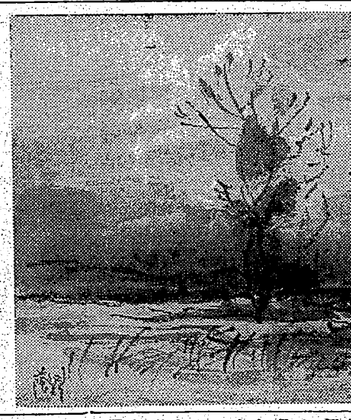
同じ斯うした禁札に依るなれば寧ろ近来清所に設見する「此処に上水道あり」と記載にその意義に訴ふるの禁こそ効果的ならん、或ひは交通安全をも兼ねてしかず、外国の一部でも採用して立小便の防禦をさくるの道を講ずべきである。

○

しかしまた時と場合に依ると盗の大変姿な所業のたつて旅んでもない馬鹿をやるの例がたきにしもあらずである。国ち支那国民性の特質として非常に体面を重んじ文中室々として「面を脱ひ其の跡に唾ねん」などと云ふ観念を有つ。

◇……郊外春光(1)……鼎蔭

◇……野路……◇緑の大地の真中に、赤い着物は遠き着物色の山に消え、蜜柑色の空に雲雀が歌ひ、木々生気を呈し、田園に芳草満く美しく、万物春光を浴びて欣笑む……



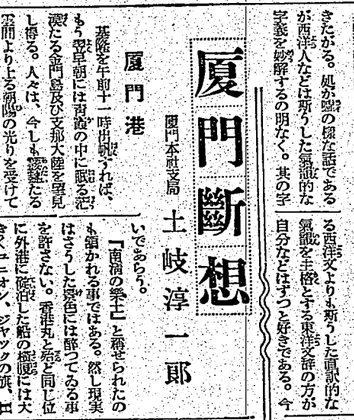
然し同様同文の変な日本人には斯うした彼等の通俗的な常識の妙趣は又解なしに会得同好る事が出来る。否寧ろ通りに余計な

○

同じく世界を以つて呼ばる、銀春水先生の雅号も此の支那流の聖旨に依つて解釈すると、「春水と云ふ字句が幽になまめかしいものと感るのである。現下百年の野望家先生も此の支那流の字句解釈には定めし喜笑一番これを久しうせらるる事であらう。斯り支那人の字義訓詁に感心ばかりするのも感心しない事であるから、先づ此辺で筆を擱く。

○

然し同文同種の好誼は自から親しきもの有り、事変不幸主義を変ふると云へども、是もまた新生支那への親善大感心みみ重畳の緊明は必ずや日支満協力の実を将来に於て、燦然たる光彩を全世界に輝やかすに至るを信ずるものなり吾人は燃度を大いにして、宇宙立国を誓る支那人の項辞の嫣艶は嫣艶としてよく之を味はひ、また以つて他山の石となすべきであらう一筆者は日東拓殖農林株式会社嘱託出張所社員―



厦門斷想

厦門本願寺島　土岐淳一郎

「南海の孤士」と称せられたのも頷かれる事ではある。然し現実はさうした感色に部つてゐる事を許さない。香港丸と同じ位に外港に碇泊した船の艦艇には大きくユニオン、ジヤツクの旗、ユニヨン（連邦）と称かれてゐる。云ふ迄もなく英国と古い歴行の汽船である。南支那海の要衝と香港を睨んで其の根拠を肥やした英帝国の船なのだ。先づ我々は目的めんとする細密を欠く感覚らせて置かうと思ひ直せつけられる。我々は今次事変で厦門は支那勝敗機だけではない事を、身に沁みて味はされて来た。而も最近それは益々露骨になつて来てゐる然し無論民族の生きる道は白人の覇絆より脱いで新しい西洋文よりも新らしい創造的な意識を主張とする東洋文化の建設である。自分などはすつと昨きである。今

厦門は由緒深い帝民義軍の旗挙げの地、或は満片戦争の折英国艦隊に占領せられる等数世紀にわたつて歴日かかつた所である。而も貿易は極に見るべきものなく香世良物倉庫の外に、二十万噸、国勢調査額四、三千万円に過ぎず唯南洋諸島の出発点として知られてゐるのみであつたが、厦鼓島の建設、道路の建設、治岸水路との連絡等によつて着後地が著大せられた。厦門、鼓浪嶼間の潮流激しい狭い水道である。その水道には二つも英領灯台と税関の姿を横たへてゐる。厦門側の大古磯頭には英領帥が一艘づつけとなり、苦力が艀の様に荷物を倉庫に運んでゐる。日本は堤頭を待たない為に船に船をつけるより仕方がないのである。この大古嶼頭こそ英国東洋政策の縮図とも言ふべきである。

海の見える風景

北原政吉

海が見える　島が見える
どこからか　拡声器もあらはれさうだ
陽がくれたら　航海ランプも光りさうだ
だが　悲しい我が眸には何が光らう

頭こそ英国東洋政策の縮図とも言ふべきである。

厦門港は大小数つかの島々によつて天然の防波堤を築かれ、海深く天然の良港として有名にその名を知らる。日本の立ち遅れた為に、未だ船の退船所であつた事の一つの原因が数へられるのである。然し昨年は轉機に際してゐる。日満支連絡自由港として今や真正支那は立ち上らう

碼頭

艀夫を奪ませやかて香港丸は内港に入る。厦門、鼓浪嶼間の潮流激しい狭い水道である。その水道には二つも英領灯台と税関の姿を横たへてゐる。厦門側の大古磯頭には英領帥が一艘づつけとなり、苦力が艀の様に荷物を倉庫に運んでゐる。日本は堤頭を待たない為に船に船をつけるより仕方がないのである。この大古嶼頭こそ英国東洋政策の縮図とも言ふべきである。

碼頭には四、五個の近代建築が厳然として聳えてゐる。その中でも一際目立つのは税関の建物である。

春草の原つぱ

―黒潮の中の名島の断章―

喜友名英文

原つぱは　緑の原つぱ　荒い海
向ふは光る
帆船がギイラコ
帆をまげてゆくよ

原つぱは原つぱは　春草の原つぱ
緑の芽が行くよ　子供らの声が
小山羊もメニ〳〵コ
角ふつて行くよ

原つぱは原つぱ　春草の原つぱ
向ふ島のれんふしも朝焼こいで
赤銅つんで漁んだ漕いで
ホイヤッコ〳〵　搖さぶつて来るよ

つてゐる。夫等の旗を見る時、殊に外地では日本人たるものの誰でもが感ずるであらう胸に熱いものを感じる。美しいと思ふ。そして国家の運命を賭してのこの戦ひを成し遂げねばならぬとキリリ胸が搖る。

厦門側には四、五個の近代建築が厳然として聳えてゐる。その中でも一際目立つのは税関の建物である。

厦門は日本人たるものの誰でもが感ずるであらう胸に熱いものを感じる。美しいと思ふ。そして国家の運命を賭してのこの戦ひを成し遂げねばならぬとキリリ胸が搖る。

厦門側には四、五個の近代建築が厳然として聳えてゐる。その中でも一際目立つのは税関の建物である。

厦門は日本人たるものの誰でもが感ずるであらう胸に熱いものを感じる。美しいと思ふ。そして国家の運命を賭してのこの戦ひを成し遂げねばならぬとキリリ胸が搖る。

厦門側には四、五個の近代建築が厳然として聳えてゐる。その中でも一際目立つのは税関の建物である。

ズ・ドイツ文化賞決る

ズデーテン・ドイツ人の現代文化を世界に意識させズデーテン・ドイツ文化賞が設定されこの度授賞者は誰ぞうと、ズ・民族問題の受賞者は誰ぞうと、ズ・ドイツ人の誰れ〳〵が選ばれるかと、ズ・懸賞コンクール・ヘライン、文芸部は今年四十歳になる生粋のズデーテン・ドイツ主義の作家ロベルト・リンデマン氏に決つてゐるのを、支那人が飛越しに珍らしさうに立ち止つて見てゐる暖い日和でゐる。翌渡つた空には日の丸がはためき鳥が飛んでゐた。

大學家庭藥
大正何年
どれ、さあ十錢
ばかり
クサクヨゐれど　リア種十二
く安くかは薬
！ぬらなばれけな
大學胃腸藥
大學胃下垂劑
大學止瀉劑
大學虫下しには
大學驅虫錠
大學頭痛錠
大學腹痛錠
大學感冒錠
大學せき止錠
大學清涼劑
大學皮膚藥
大學外傷藥
大學痔疾藥
大學水虫液
大學メンソールクリーム
大學婦人藥
大學奇應丸
大學小兒かぜ藥
大學小兒せき止シロップ
大學目藥
大學婦人藥
大學小兒かぜ藥
大學小兒せき止シロップ
大學胃腸藥
大學目藥
大學婦人藥
大學小兒かぜ藥
大學小兒せき止シロップ

皇后陛下の御慶事
愈よ御間近と拝す
宮内省で御芽出度き御警戒

【東京一日發同盟】時局下国をあげて御待ち申上げる慶事陛下の御懐妊は愈よ御間近と拝し奉り宮内省では一日から御拝出、慶き御期日から御拝出、慶き御期日から御拝出、慶き御期

青壯年層に對して
強歩の奬勵を行ふ
日本體聯に委員會

【東京一日發同盟】全日本體操聯盟では長期建設下における國民體力向上に資する目的を以て今般強歩奬勵委員會を結成し、これが初會合を二十一日午後六時から神田如水會館において開催し、聯盟側から大谷副會長以下各委員之に臨席、陸軍戸山学校並に男女合同による強歩の實施方法に關し懇談した。

なほこの小委員會第一回會合は來る二月三日午後六時から如水會館において開催される筈であるが、具體案起草委員會には大谷武一氏、委員は陸軍中佐福川眞澄氏、金栗四三氏、加賀一郎氏外五名である。

高砂族青年を訓練
幹部を三、四十名づつ選抜して
府理蕃課が各地方別に

【新竹電話】新竹地方法院管内における昭和十二年十二月二十八日より二百間、全島高砂族青年團幹部約五十名を各地に招集し、或は陸軍中佐の講話をきゝ或は理蕃當局より種々訓示として實施せんとするところあり、又た皇紀二千六百年記念事業として高砂族青年團の發會式を擧げ、それより各地に於ても續々發會式を擧げ、時局に對する認識を深めしむると共に、同族青年化運動に大に資する